

突然の訪問にも関わらず、あたたかく迎えていただきありがとうございました。

友人の〇〇から、小学生の勉強をみてほしいという話を聞き、ファミリーホームのことについてよく知らないままに、勉強道具だけ持参しておじゃましてしまったのですが、むしろ私の方が多くのことを感じ、勉強させていただきました。

HPも拝見し、笑顔と安心感でいっぱいのホームのかけには、廣瀬さんの願いと、これまで子どもたちと一緒に歩んできた道のりがあるのだと改めて思いました。

いまは一時現場を離れていますが、私もこれまでさまざまな子どもたちと接する中で多くのことを学びました。

言動の裏には、その子の置かれている環境があり、心理状態があり、対人関係があるのだということ。

子どもが安心して学校に通うためには、学級や集団への所属感が不可欠だということ。

信頼関係の上こそ指導が成り立つのだということ。

それらは、すべてホームでの日常の中にあらわれていることだったと思います。現場を離れている間も少しでも感覚を忘れないようにしたいと、発達心理を勉強しなおしていますが、

やはり生の子どもたちとの時間に勝るものはありません。

廣瀬さんの「今の子どもたちの姿が、これまでやってきたことの結果」という言葉のとおり、

全身全霊で注いでいる愛情とエネルギーが、子どもたちの成長の源になっているのだと強く感じました。

密度の濃い時間を過ごしているひろせホームから分けていただいた元気を、これから出会う子どもたちに還元していきたいと思います。

夏休みも残りわずかですが、

Tくん、Aさんはじめ、元気っ子たちによろしくお伝えください。

それでは、暑さ厳しい折柄、皆様どうぞお体御自愛ください。

T〇様より